



The Association for Overseas Technical Cooperation and Sustainable Partnerships

30-1, Senju-azuma 1-chome, Adachi-ku, Tokyo 120-8534

Tel: 81-3-3888-8256 Fax: 81-3-3888-8242 E-mail: shouhei-au@aots.jp URL: <http://www.aots.jp/>

技術協力活用型・  
新興国市場開拓事業  
(研修・専門家派遣・寄附講座開設事業)

2024年8月

## 募集要項

ビジネスイノベーションと組織開発研修コース 2

**The Program on Business Innovation and Organization Development 2**

**[BIOD2]**

2025年1月22日～2月4日

## 1. コース開設の背景：

一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）は、主に海外の産業人材を対象とした研修及び専門家派遣等の技術協力を推進する人材育成機関です。これらの事業を通じて、日本と海外諸国相互の経済発展に貢献するとともに、友好関係の増進にも寄与します。

AOTS は 1959 年（昭和 34 年）8 月に日本で最初の民間による技術協力機関として通商産業省（現・経済産業省）の認可を受け設立され、これまでに日本で実施した研修には、2021 年度（令和 3 年度）までに世界 198 の国と地域から延べ 200,000 人余りが参加したほか、海外で実施した研修にも延べ 230,000 人余りが参加しています。

AOTS は帰国後の参加者や開発途上諸国の産業界からの要望に基づき、様々な研修コースの企画、開発に努めています。

「ビジネスイノベーションと組織開発研修コース 2(BIOD2)」は、一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）が実施する管理研修コースの 1 つです。本コースは全開発途上国の参加者を対象に開設され、開発途上国における厳しい経営環境と限られた経営リソースのなかでビジネスイノベーションを起こしていくために必要なリーダーとしての能力向上とビジネスイノベーションの起きる組織風土改革を推進できる経営人材の育成を目指して実施します。

## 2. 対象国：

下記 URL より対象国・地域一覧をご確認ください。

<https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/management/oda/>

## 3. 参加者の人数：

23 名

## 4. 参加資格：

以下の資格を有することが必要です。

- (1) 原則として、開発途上国の企業における経営者・経営幹部・上級管理者。上級管理者については、経営企画、人材開発、組織開発に責任を有する部門の責任者が望ましい。
  - (2) 原則として、年齢は 20 歳以上の方
  - (3) 大学卒またはこれに準ずる職歴を有する方
  - (4) 英語による聴講、討論、発表、報告書作成ができる方
  - (5) 心身健康な方
  - (6) 開発途上国または地域に居住の方
  - (7) 学生でない方、軍に籍をおいていない方
  - (8) 過去に AOTS が実施する国庫補助事業の研修制度で来日した方は、帰国後半年（183 日）以内に開始されるコースに応募することはできません。
- \* 勤務先が日系企業、日系企業の取引先企業、今後日系企業との取引を予定あるいは希望している企業の方が望ましい。（日系企業や日系企業の取引先企業、今後日系企業との取引を予定あるいは希望している企業からお申込みいただいた場合、選考時の優先順位が高くなります。）

注意：

- (1) コース参加者は、研修コースの全てのカリキュラムに参加する必要があります。
- (2) 日本へ家族や会社の同僚・部下等を同伴することはできません。
- (3) 参加者は AOTS に対してプログラムの追加を要望したり、自身でプログラムを計画したりすることはできません。このコースの終了後速やかに帰国しなくてはなりません。ただし、日本の受入企業がこのコースの終了後、現地研修を計画し、AOTS の承認を受けた場合はこの限りではありません。
- (4) 日本以外の先進国資本が入った企業からお申込みいただいた場合は、選考時の優先順位が低くなります。

- (5) 本研修は、主に民間企業・団体に勤務する方を対象としているため、中央・地方政府機関からお申込みいただいた場合は、選考時の優先順位が低くなります。
- (6) 申し込み人数が定員を上回る場合は、日本の受入企業または海外の派遣企業 1 社当たりの参加人数を制限させていただくことがあります。

## 5. 応募方法：

日本国内の法人（親会社等）を通じて申し込む場合と、海外の現地法人が直接 AOTS に申し込む場合では、応募方法、提出書類等が異なりますので、ご注意ください。

- (1) 管理研修参加後に現地研修を希望する場合、受入企業となる日本国内の法人（親会社等）を通じて申し込む必要があります。
- (2) 日本国内の法人を通じて申し込む場合、渡航費は対象となりません。但しアフリカからの参加者を受入れる場合のみ渡航費を対象とします。

### (日本国内の法人を通じてのお申込みの場合)

- (1) 仮申込み：お電話、または E-mail にて検討されている研修の概要（研修対象者の属性、現地研修の有無等）をご連絡ください。そのうえで、以下の応募書類を 2024 年 10 月 21 日（月）までに、AOTS 研修・派遣業務グループ（1 2. お問い合わせご参照）までご提出ください。

1. 研修申込書（概要） 2. 研修生個人記録並びに研修契約に関する申告書 3. 事前研修レポート

- (2) 本申込み：仮申込み受理の連絡を受けた後、本申込みに必要な書類の準備、段取りなどについて、ご案内いたします。

※ご不明点等ありましたら研修・派遣業務グループまでお問い合わせください。（1 2. お問い合わせご参照）

※上記 AOTS 所定様式は当協会ホームページからダウンロードできます。

【日本語】 <https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/download/#kanri-shinkokoku>

### (海外の現地法人から AOTS に直接お申込みの場合)

AOTS 海外協力機関を通して、以下の応募書類一式を PDF・エクセル両方の形式で、2024 年 10 月 21 日（月）までに AOTS 海外統括部に到着するよう提出してください。

応募書類の提出期限は、各機関によって異なりますので、AOTS 海外統括部（1 2. お問い合わせご参照）にお問い合わせください。

お申込者には AOTS 海外協力機関による面接をさせていただきます。

- (1) 研修申込書、研修生個人記録申告書（AOTS 所定様式：手書きの記入は避けてください）

※PDF・エクセル両方のソフトコピーを提出

- (2) 日本企業との取引および日本市場への参入に関する調査票 ※エクセル

- (3) 問診書（AOTS 所定様式：手書きの記入は避けてください） ※PDF

- (4) 研修生個人情報取り扱いについて（AOTS 所定様式） ※PDF

- (5) 海外旅行保険承諾書（AOTS 所定様式） ※PDF

- (6) 研修契約に関する申告書（日系派遣企業用） ※PDF

- (7) 勤務先概要を紹介する資料 ※PDF

- (8) 顔写真データ（データタイトルに氏名を入力してください） ※JPEG または PDF

- (9) パスポートコピー ※PDF

※パスポートをお持ちでない場合は、自動車免許証コピーや ID カードコピー等（公的機関により発行されたもので、写真があり、ローマ字で氏名、生年月日が記載されているもの）を提出してください。

- (10) 事前研修レポート ※WORD

注意：

※他にも必要に応じて書類を求めることがあります。

※上記 AOTS 所定様式については AOTS 海外統括部（1 2. お問い合わせご参照）にお問い合わせください。

提出された応募書類は、2024 年 11 月 21 日（木）の審査委員会で審査されます。審査結果は審査委員会終了後、AOTS より連絡いたします。

注：応募者が締切日時点で 23 名に満たない場合、本コースを中止または延期する場合があります。

## 6. 研修コースの概要：

### ■ 目的

本コースは、開発途上国における厳しい経営環境と限られた経営リソースのなかでビジネスイノベーションを起こしていくために必要なリーダーとしての能力向上とビジネスイノベーションの起きる組織風土改革を推進できる経営人材の育成を目的とする研修コースです。

### ■ 期待される効果

- (1) ビジネスイノベーション創出のために経営者に求められる資質、果たすべき役割を理解できます。
- (2) ビジネスイノベーションを立案し、戦略的に推進するための経営手法を身に付けることができます。
- (3) ビジネスイノベーションを起こすための組織開発・人材開発の手法を身に付けることができます。
- (4) ビジネスイノベーション創出のための具体的な行動計画を策定することができます。

### ■ 期間

2025年1月22日（水）～2月4日（火）（14日間）

### ■ 内容

#### 【ステップ 1】

お互いに学びあうラーニングコミュニティとしての一体感を醸成します。また、ビジネスイノベーションは組織のメンバー一人ひとりが主体的にリーダーシップを発揮し、連携しあって事業を生み出していくといった組織的な要因が大きく影響するため、組織開発の理論と具体的な手法を学ぶことにより、ビジネスイノベーションが起きる組織の在り方について学びます。そして組織開発を実践して組織を活性化させている日本企業を訪問し、経営者・幹部等との対話を通じて自社においてどのような取り組みが可能かを考察します。

#### 【ステップ 2】

参加者自身がビジネスイノベーションを起こすために必要なビジネスリーダーとしての心構え、使命をもち、自社の経営理念（ミッション・ビジョン・バリュー）を明確に打ち立てることの重要性を講義・演習を通じて学ぶ。また明確な経営理念をもとに優れた経営を行っている日本企業を訪問し、経営者・幹部等との意見交換を通じて理念経営のありかたを学びます。

#### 【ステップ 3】

イノベーションとは何か、ビジネスにおいてイノベーションを起こすためには何が必要か、という点について、イノベーターとして必須の5つのスキル（①関連づけるスキル、②質問するスキル、③観察するスキル、④ネットワークキングするスキル、⑤実験するスキル）を学び、ビジネスイノベーションを起こすためのものの見方や取り組みについて学ぶ。またビジネスイノベーションを起こしている企業を訪問し、具体的な実践例から自社に何ができるかを考察します。

#### 【ステップ 4】

ビジネスイノベーションにつながる具体的な事業計画策定の仕方について講義、演習を交えて学びます。

#### 【ステップ 5】

コース中に学んだビジネスイノベーションや組織開発の理論や知識、心構えを踏まえた上で、グループでの討論をもとに世界または参加者の国で経済的・社会的問題を解決するイノベティブなビジネスプランを作成し、最終日に発表します。

コースは通常午前3時間、午後3時間の講義からなり、夕方にはグループ討論が行われます。日程表（予定）をご覧ください。

### ■ 使用言語

講義、企業見学、演習は英語あるいは英語通訳付で行われます。コースで使用する資料と教材は英語で作成されます。

### ■ コースディレクター

山中 俊之 氏  
株式会社グローバルダイナミクス 代表取締役